



業績に応じて、報奨金を受け取れるパート従業員＝名古屋市南区のステーキのあさくま東浦通り店で

パート報奨金 士気アツアツ

あさくま、店の業績連動で

ステーキチェーン店のあさくま(名古屋市中区栄)が、アルバイト・パート従業員を対象に各店舗の業績に連動して支給する報奨金制度を導入している。報奨金は店ごとに毎月支給され、

最高で月二万円(給与増となる。あさくまの店舗では非正社員の比率が高く、待遇改善は店舗全体の士気の向上につながっている。

報奨金制度は昨年五月か

ファストフードとはひと味違った千円前後のハンバーガー「グルメバーガー」を扱う店が東海地方でも増えている。その魅力を伝えようと、地元店をブログ(日記風サイト)で紹介している会社社員林真義さん(二〇〇九年から地元の名古屋市中区栄の「ピギーキャットダイナー」。パーティ(牛肉)とアボカド、

愛好家が発信

まで開かれている。

名古屋市中区栄の「ピギーキャットダイナー」。パーティ(牛肉)とアボカド、

「グルメバーガー」急増中

生ハムなどが積み上がった。スタンプリリーは昨年かバーガーを頼張った林さんは「すべての具材のバランスが絶妙。日本人らしい繊細な組み合わせで発展している」と絶賛した。

二〇〇九年から地元の名古屋市中区栄の「ピギーキャットダイナー」を紹介する林さんは、「東海ハンバーガー協会会長」を自称するほどの愛好家。林さんによると、十五年ほど前から東京ではやり始めたグルメバーガーは東海三県でも二三年で急増、推定八十店舗に上るとい

スタンプラリーは昨年からで、フランス料理の技法でつくるザ・ルーモアバーガー(一宮市)や居酒屋でもバーガーが楽しめる「鳥と魚」(愛知県豊川市)など个性的な店ばかり。六店舗回れば抽選で二万円分の旅行券が当たるなどの特典があり、中部テレコミュニケーション(名古屋市中区栄)の無料地図アプリ「ちずコレ」をスマートフォンに入れば参加できる。

(太田鉄弥)

東海37店舗でスタンプラリー

ポリウム紹介する林用の地図アプリの中区栄3の



ら始まった。ある月の店舗の経常利益がその前年同期と比べ増えていることが条件で、経常利益の増額分の一割が報奨金の原資に充てられる。パート同士が互いに接客などの項目で点数をつけ合い、点数の多い人がより多くもらう。店の業績が上がらなければ支給はゼロだ。

以前からパート同士で接客や調理の技術を競わせ、上位者の時給アップを行うなどの制度を取り入れてい

たが、さらに待遇改善を図った。広報担当者は「パート従業員は店の主力で、店の売り上げ数字にもっと興味を持ってほしい」とその狙いを話す。

報奨金の導入は会社全体の業績向上にもつながっており、二〇一五年二四期の決算は四期連続の増収増益。名古屋市中区栄の東浦通り店でパートとして働く梅田美智子さん(五十)は「今月の売り上げはどう」とパート同士でも話し合っ

になった」と職場の雰囲気の変化を説明する。中部地方を中心に、関東を含めて三十九あるあさくま直営店では、店長以外の従業員はほぼ全員がパート。このため店舗の質を保つには、勤続年数の長いパートを確保し続けることが重要で、担当者は「パートの人たちにもあさくままで働く生きがいや喜びを増やすようにしていきたい」と、今後待遇改善を進める考えだ。

(桐山純平)

エネの地産地消を工業団地に導入へ
中部ガス(愛知県豊橋市)は、九月から浜松市北区の新しい工業団地に、太陽光や風力による発電と、天然ガスの熱電併給システムを組み合わせてエネルギーを効率よく使う仕組みをつくるため、浜松市と共同調査に入る。

この仕組みは「スマートエネルギーネットワーク」